

食と生命のサイエンス・フォーラムのご案内

急速に高齢化が進む社会において、認知症などの脳機能障害の増加が大きな脅威となっています。近年、脳の認知機能に関する研究が飛躍的に進んでおり、遺伝子レベルの知見なども蓄積しています。また、認知機能に影響を及ぼす栄養因子についても広く明らかになってきました。このフォーラムでは、認知機能における栄養の役割について、最先端の脳科学と栄養科学の連携研究から得られた最新の情報を紹介します。多くの方のご参加をお待ち致します。

脳の認知機能に及ぼす栄養の役割

日時 2013年10月2日(水) 13:00-17:00 (受付は12時15分より開始)

場所 東京大学 伊藤謝恩ホール (伊藤国際学術研究センター 地下2階)

東京都文京区本郷7-3-1 <http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/access.html>

交通 東京メトロ 丸の内線 本郷三丁目駅より徒歩8分

東京メトロ 南北線 東大前駅より徒歩15分

参加費 無料(事前申し込みを承ります)

申込み こちらからお申込みください <http://mncj.nestle.co.jp/> (ネスレ栄養科学会議で検索)

主催 : 東京大学総括プロジェクト機構 総括寄付講座「食と生命」

ネスレ栄養科学会議、ネスレリサーチ東京

協賛 : ネスレ日本株式会社、ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー

プログラム

基調講演

「朝食が認知機能に与える影響—脳機能イメージングのコホート研究から」
東北大学 加齢医学研究所 スマート・エイジング国際共同研究センター
センター長 川島 隆太教授

ネスレ栄養科学会議 2013年度論文賞 授賞式

講演1「記憶制御に対する栄養素の役割」

東京農業大学 応用生物科学部 バイオサイエンス学科 喜田 聡教授

講演2「脳機能におけるn-3系脂肪酸の役割」

麻布大学 生命・環境科学部 食品生命科学科 守口 徹教授

パネルディスカッション